



レンジフードファン取付説明書

取扱説明書・取付説明書は必ず使用されるお客様にお渡しください。

壁スイッチ仕様・連動ダンパー仕様で補足説明書が同梱されている物は、それに基づき電気工事を行ってください。

安全上のご注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告： 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意： 人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例



記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

警告



分解・修理・改造禁止

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。



取付注意

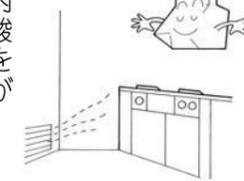
- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けること
漏電した場合、発火したり感電することがあります。



給気注意

- 自然排気型のストーブを使用するときは、空気の取入口(給気口)により十分給気される配慮をすること

排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります。



取付注意

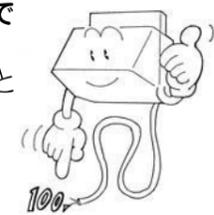
- レンジフード本体と排気ダクトは可燃物との間隔を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆ってください
火災などの原因になります
詳しくは、所轄の消防署へ確認ください

注意



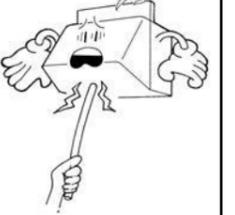
使用禁止

- 交流100V以外では使用しないこと
火災・感電の原因となります。



接触禁止

- 運転中はファンの中に指や物を入れないこと
けがをすることがあります。



取付注意

- ファンや部品の取り付けは確実にすること
落下によるけがをするおそれがあります。



取付注意

- 本体の取り付けは十分強度のあるところを選んで確実にすること
落下により、けがをすることがあります。



取付注意

- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実にすること
誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります。



使用禁止

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと(浴室用換気扇をお使いください。)
感電および故障の原因になります。

取り付け前の調査と準備

警告

- レンジフード本体と排気ダクトは可燃物との間隔を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆ってください
火災などの原因になります
詳しくは、所轄の消防署へ確認ください



取付注意

注意

- レンジフードファン本体の取り付けは十分強度のある取付け面または補強棧等に確実にすること
落下によりけがをすることがあります。
壁材が薄く弱いと振動音が発生することがあります。
- レンジフードファン取り付け面の木部に、取り付け用木ねじが確実に届いているかを確認すること
本体の取り付け用木ねじは、45mmの長さのものが同梱されておりますが壁下地に石膏ボード等が貼られている場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取り付け用木ねじが確実に木部に届くことを確認してください。



取付注意

1. 取り付け面の強度確認

……製品を支える強さが必要です。

	製品質量
600幅	14.0kg
750幅	17.0kg
900幅	20.0kg

■板張りの場合

- 板厚が20mm以下の場合には壁に補強板を埋め込み補強板にレンジフードファンを取り付けてください。
- 板厚が20mm以上の場合には補強板は必要ありません。

■コンクリート、タイル壁の場合

- あらかじめ補強板を壁に埋め込んでおくか、カールプラグ等を使用し固定してください。

■土壁の場合

- 柱などに固定した補強板をあらかじめ壁に埋め込んでおいてください。

2. 別売部品の準備

排気工事に応じた別売部品の準備が事前に必要です。

3. 標準取付寸法

本製品の標準取付寸法はガス器具の上面からレンジフード本体下面まで80cmです。

- ※ 火災予防条例では、グリスフィルターの下側がレンジの真上80cm以上となっています。



4. 電源コンセント

コンセントは専用コンセントを設置してください。(交流・単相100V)
コンセントは、15A 125Vをご使用ください。

取付上のご注意

- 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者が行う必要があります。
 - 大工工事(設置のための下地工事等)
 - 配線工事(コンセントの設置、コンセント・コネクタ利用以外の配線接続等)
 - 管工事(ダクト配管及びレンジフードファンからのダクト接続等)
 流通業者(販売店)を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別して行ってください。

- ガス器具の幅はレンジフードファンの幅以内のものをご使用ください。
ガス器具はレンジフードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。排気効率が低下します。

- レンジフードファンの取り付けは、薄板の金属部(壁内ラス網等)と接触しないように、十分注意して取り付けてください。なお、本体の壁への埋め込みは、絶対にやめてください。
漏電した場合発火することがあります。

- 排気工事をされる場合建築基準法(同施行令)および消防法等の関連法規に従って施工してください。

- 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいちじるしく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。

- 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けしないでください。
火災・故障の原因となります。

- 製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。

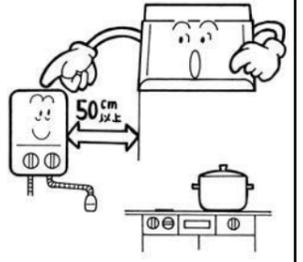
- 電源は専用コンセントを設けてください。
火災・感電の原因となります。

- 製品の取り付けには手袋を着用してください。
薄板の切り口などでけがをすることがあります。

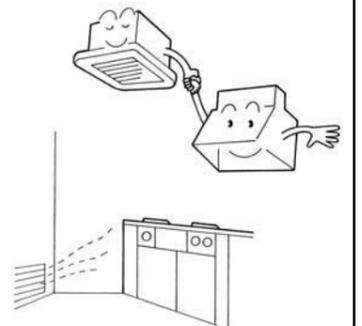
- 製品はガス器具の真上に取り付けてください。
なお、製品取付高さは、製品の下端がガス器具の真上80cm以上になるようにしてください。



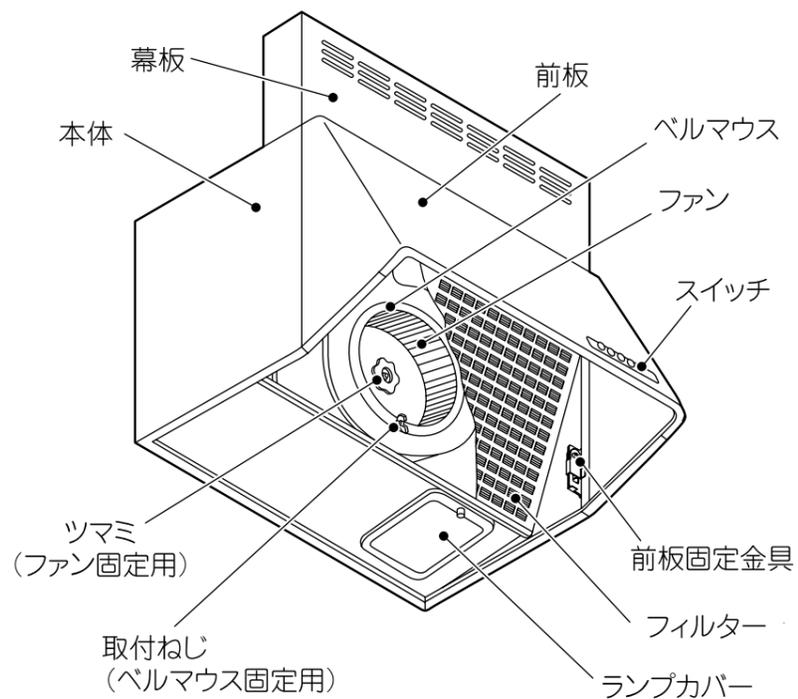
- レンジフードファン下部には、湯沸器を絶対に取り付けないでください。また、横方向50cm以上離して取り付けください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因となります。



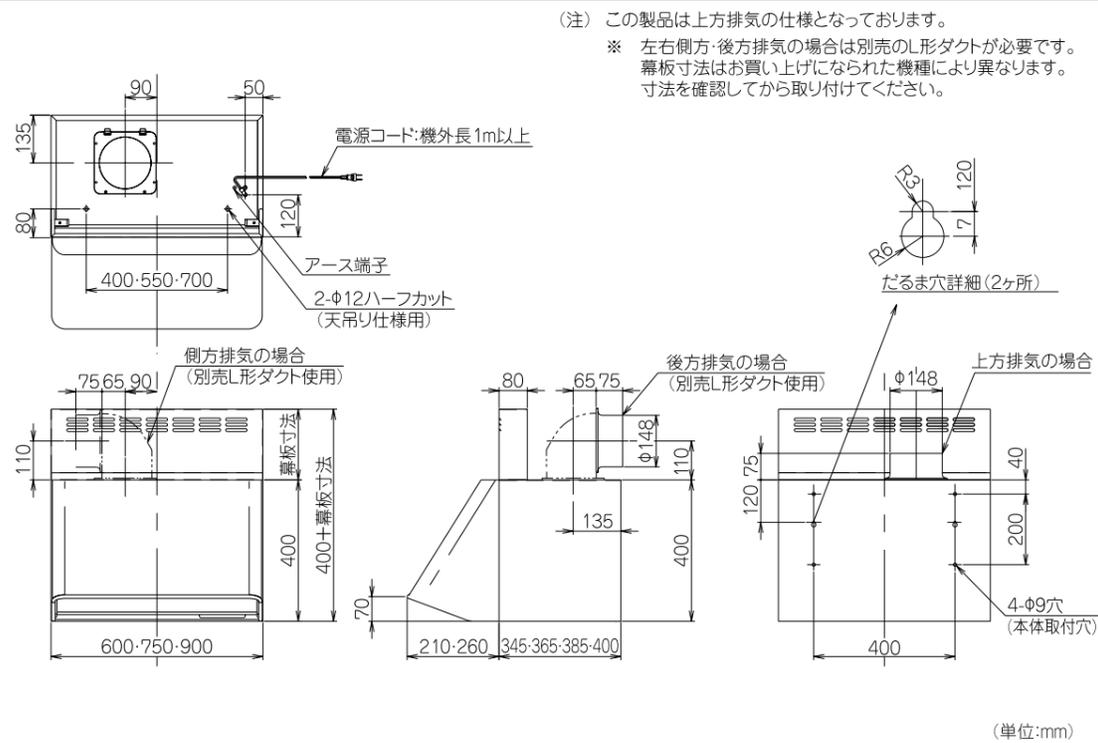
- 建物が密閉されている場合は必ず、約400cm³程度の空気取入口を設けてください。
部屋の中央で料理される場合は、油煙が捕集しきれませんので、お台所の全体換気のために、他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。



各部の名称



製品寸法図



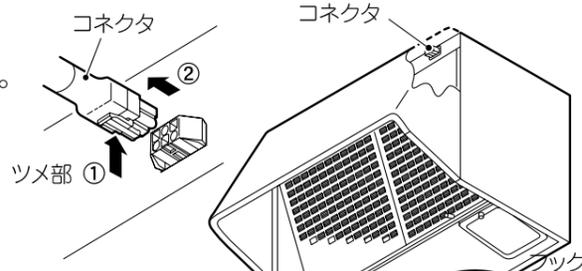
付属品

品名	略図	用途
木ねじ	 (φ4.5×45) 2本	本体の取り付けに使用します。
座付ねじ	 (φ5.1×45) 4本	本体の取り付けに使用します。
排気口	 1個	本体とダクトの接続に使用します。逆風防止シャッター付きです。
ソフトテープ	 1本	排気口とダクトとの隙間をふさぐのに使用します。

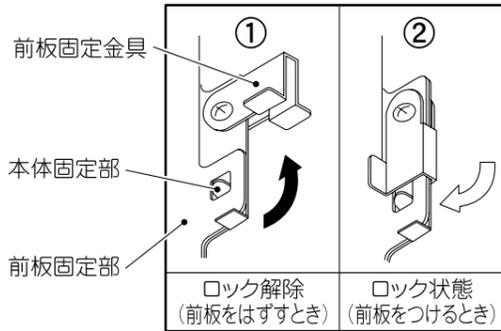
取り付けかた

1. 本体の準備

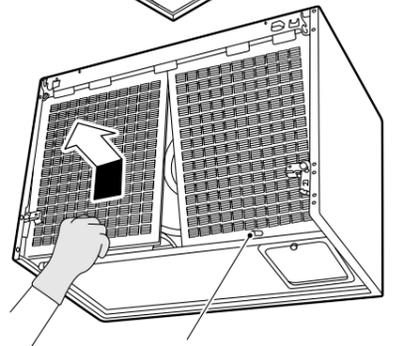
- (1) コネクタをはずします。
①のツメ部を押しながら、
②の方向へ引き抜きます。



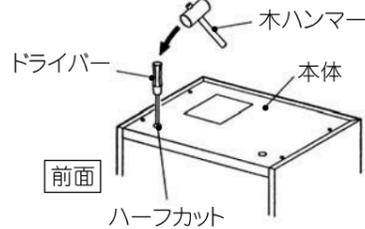
- (2) 前板をはずします。
前板固定金具を内側に回転させ(図①)、ロックを解除し、前板ツメ穴を本体ツメ部からはずし前板を両手で持ち、手に引いてははずします。



- (3) スロットフィルタをはずします。
スロットフィルタのとってを持って上にあげ、手前に引きます。
- (4) 付属品の排気口を準備します。
付属品箱に同梱の排気口を取り出してください。



- (5) 天吊り仕様の場合は、製品寸法図に記載されている2-φ12ハーフカットをドライバー等を当てて木ハンマー等で打ち抜いてください。



2. 排気方向の決定

警告



取付注意

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けること
漏電した場合、発火したり感電することがあります



取付注意

- 排気工事をされる場合は建築基準法(同施工令)および消防法などの関連法規に従って工事する
火災などの原因となります



取付注意

- フード本体とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆ってください。
詳しくは、所轄の消防署に問い合わせてください

注意



使用禁止

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと
(浴室用換気扇をお使いください)
感電および故障の原因になります

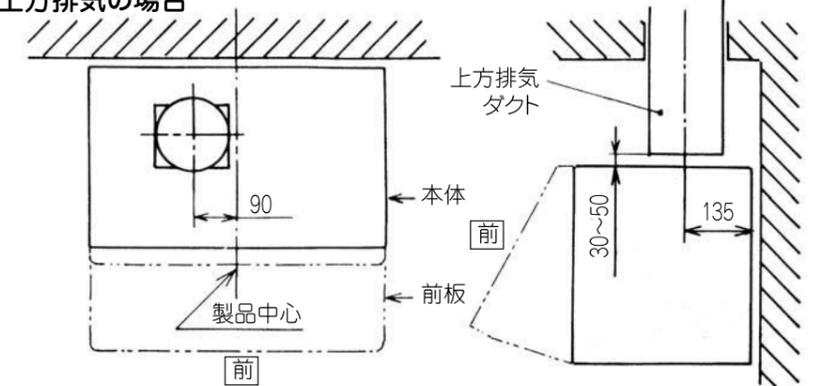


取付禁止

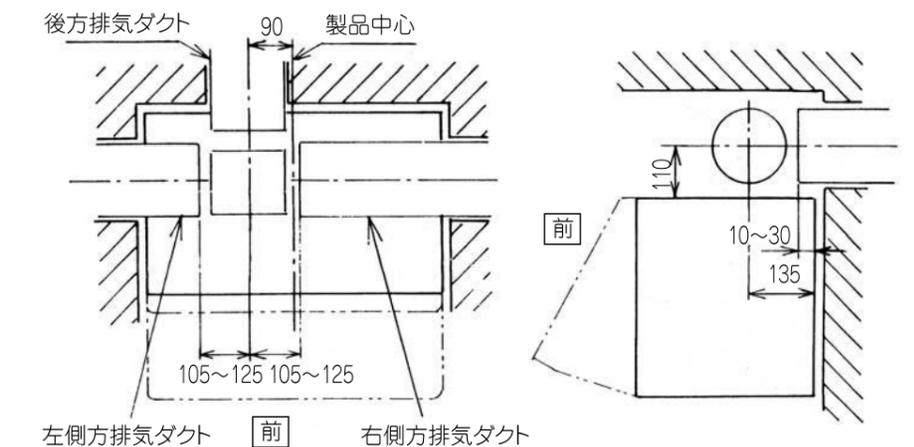
- 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けない
火災・故障の原因となります

- (1) 製品寸法図を参照し、壁穴を開けてください。
(2) φ150のステンレスダクト、またはスパイラルダクトを下図のようにレンジフードファンの天面に突き出すようにセットして、周囲を仕上げてください
(コンクリート、タイル、土壁の場合)

■上方排気の場合



■側方および後方排気の場合(別売のL形ダクトを使用する場合)

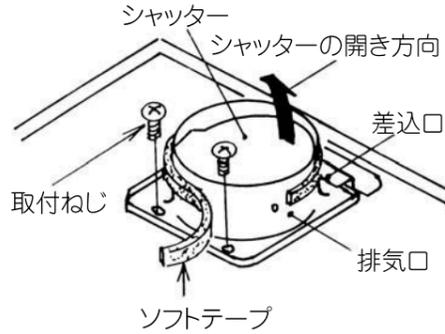


3. 排気用部品の準備

1. 本体の準備 の項で取り出した排気口を準備してください。

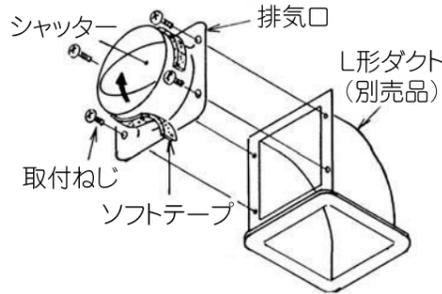
■ 上方排気の場合

排気口に付属品のソフトテープを貼り直接本体に取り付けます。排気口は本体上面の差込部に差し込み、取付ねじ2本で取り付けてください。(取付ねじはあらかじめ本体の排気口取付部に止めてありますので外してご使用ください。)



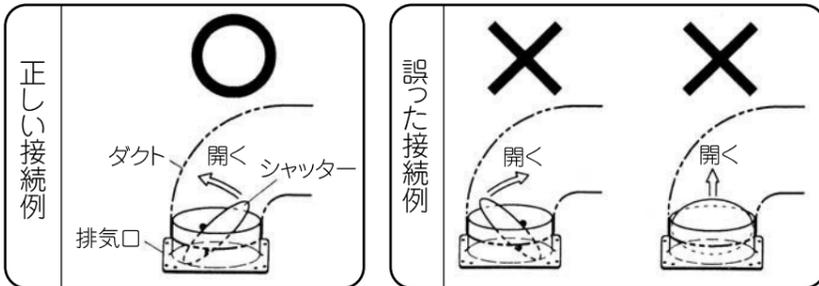
■ 側方および後方排気の場合 (別売のL形ダクトを使用する場合)

排気口に付属品のソフトテープを貼り別売のL形ダクトに取り付けます。排気口は、L形ダクトに付属の取付ねじ4本でL形ダクトに取り付けください。



お願い

別売のL形ダクトを使用しないで、排気口に直接ダクトを接続して側方・後方排気する場合は、シャッターの開く向きに注意して排気口を取り付けてください。下図の「誤った接続例」の場合、排気不良や異常音の原因となります。



4. 本体の取り付け

⚠ 注意

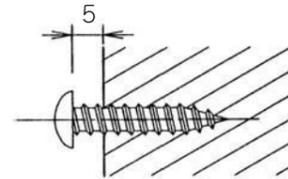


● 本体の取り付けは十分強度のあるところを選んで確実にすること

取付注意 落下により、けがをすることがあります



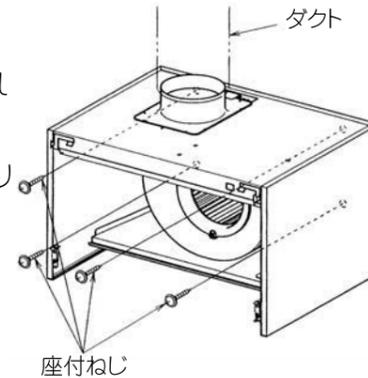
- (1) だるま穴用木ねじをねじ込む。だるま穴位置(左右各1か所)に木ねじ(φ4.5×45)を壁面との隙間5mmまで締め付けてください。
- (2) だるま穴用木ねじに本体を引っ掛けた後、座付ねじ(φ5.1×45)で本体取付位置4か所をしっかりと締め付けてください。



お願い

上方排気の場合は、ダクトに排気口を差し込みながら本体を取り付けてください。

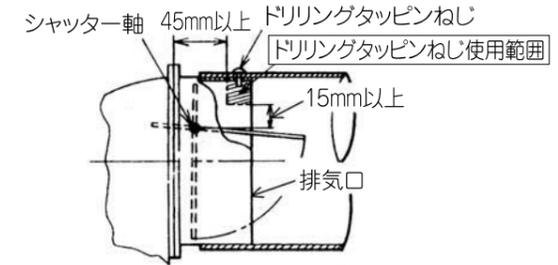
- (3) だるま穴用ねじ(左右各1か所)をしっかりと締め付けてください。



5. ダクトと排気用部品の接続

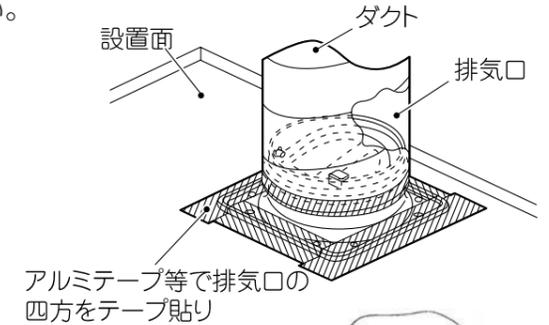
お願い

ドリリングタッピンねじなどで排気口を固定する場合は、シャッターにねじがあたらないように図のドリリングタッピンねじ使用範囲内に固定してください。



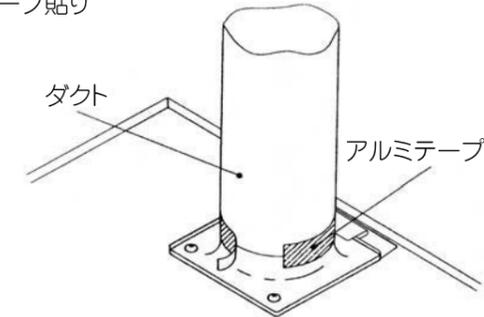
排気口設置面の漏風確認のお願い

排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトにレンジフードの排気口を接続しようとする、排気口と排気口の設置面(フード天面等)が変形し、排気漏れが発生してしまう場合があります。排気漏れ確認の為に、ダクトと接続後は試運転(強運転)を行ってください。漏風する場合は、排気口と設置面の周りをアルミテープ等(現地手配)で漏風防止処置を行ってください。



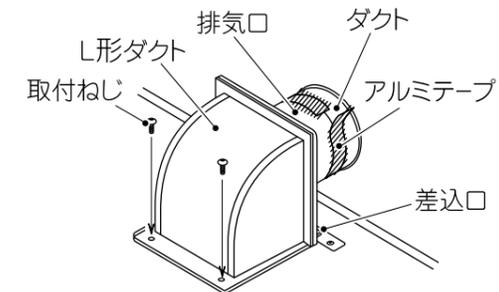
■ 上方排気の場合

風漏れ防止のテーピング(アルミテープ)を行ってください。



■ 側方および後方排気の場合(別売のL型ダクトを使用する場合)

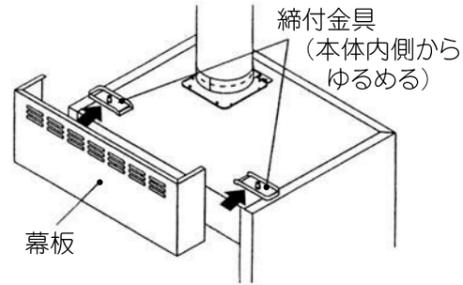
- (1) L形ダクトを本体上部の差込口に差し込みながら、排気口をダクトに挿入し、取付ねじ2本で取り付けください。(取付ねじは、あらかじめ本体のL形ダクト取付部に止めてありますので外してご使用ください。)
- (2) 風漏れ防止のテーピング(アルミテープ)を行ってください。



6.幕板の取り付け

※ 別売品の幕板を取り付ける場合

- 幕板締付金具のねじ(左右各1か所)をゆるめ、幕板を前からさしこんでください。
- 幕板の取付位置を決め、幕板締付金具のねじを締め付けて固定してください。



7.組み立て

⚠ 注意



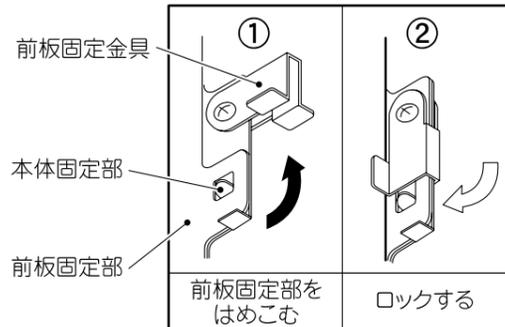
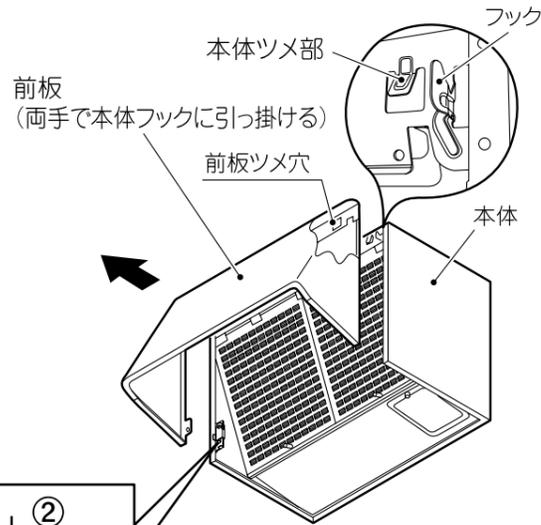
取付注意

● ファンや部品の取り付けは 確実にすること

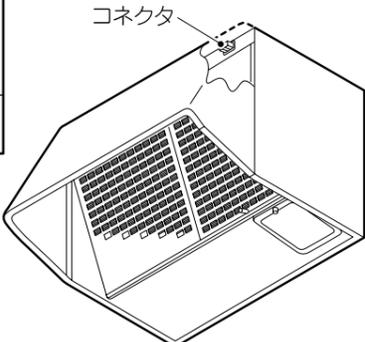
落下により、けがをするおそれがあります



- 前板を両手で持ち、本体のフック(左右2ヶ所)に引っ掛けます。
- 前板ツメ穴を本体ツメ部にはめこみ、すきまができないようにななめに押し上げます。
- 前板固定金具を回転させた状態で、前板の下の前板固定部を本体固定部にはめこみます。(図①)
- 前板固定金具(左右2ヶ所)を下に回転させてロックを確認し(図②)前板を確実に固定させてください。

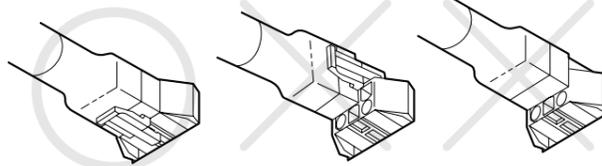


- 「1.本体の準備」にてはずしたコネクタを差し込みます。
- スロットフィルタを取り付けます。



お願い

- 前板の取り付けは、確実に行ってください。確実に取り付けが行われないと、ご使用の際に前板が落下しけがのおそれがあります。
- コネクタを取り付ける場合は、コネクタの向きを確認して確実に元まで差し込んでください。運転できないおそれがあります。



正しい差し込みかた

誤った差し込みかた

8.電気配線

⚠ 警告



分解・修理
改造禁止

● 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと

発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります



アースを
取り付ける

● アースを確実に取り付けること

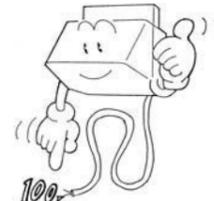
故障や漏電のときに感電することがあります
アースの取り付けは販売店にご相談ください



使用禁止

● 交流100V以外では使用しないこと

火災・感電の原因となります



⚠ 注意



取付注意

● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行うこと

誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります

■ アース(D種接地工事)を取ります。

※アース線は取り付け作業側にて手配してください。

■ 電源プラグをコンセントに差し込み、ブレーカを「入」にします。

お願い

- 電源は専用のコンセント(2極差込接続器 15A、125V)およびブレーカを設けてください。
- コンセントは、電源コードの長さを考慮して設置してください。

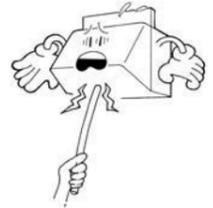
9.試運転

⚠ 注意



接触注意

- 運転中は指や物を絶対にいれないこと
けがをすることがあります



■ スイッチを操作して運転状態を確認してください。

スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。

■ 運転時、各速調の排気が正しく行われていることを確認してください。

■ 異常な騒音、振動がないことを確認してください。

■ 屋外の排気出口から排気されていることを確認してください。

■ 取り付けまたは施工上発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますのでご注意ください。

〔製造元〕 **富士工業株式会社**

本社・営業部 〒229-0006 相模原市淵野辺2丁目1番9号

TEL 042(768)3754 (営業部)